



# Cisco Elastic Services Controller の VMware vCloud Director へのインストール

---

この章では、VMware vCloud Director に Cisco Elastic Services Controller をインストールする手順について説明します。この章は次のセクションで構成されています。

- [ESC OVA ファイルの VMware vCloud Director のカタログへのアップロード \(1 ページ\)](#)
- [vCD Web クライアントへの ESC vApp の展開 \(2 ページ\)](#)
- [VIM コネクタの追加 \(3 ページ\)](#)
- [自己署名証明書の追加 \(3 ページ\)](#)

## ESC OVA ファイルの VMware vCloud Director のカタログへのアップロード

### 手順

---

**ステップ 1** vCD Web クライアントを使用して vCD 組織にログインします。

**ステップ 2** [カタログ (Catalogs)] > [マイ組織のカタログ (My Organization's Catalogs)] から、カタログを選択します。

**ステップ 3** [vApp テンプレート (vApp Templates)] タブで、[アップロード (Upload)] をクリックします。

[vApp テンプレートとして OVF パッケージをアップロード (Upload OVF package as a vApp Template)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [OVF パッケージ (OVF package)] フィールドで、[ローカルファイル (Local file)] をクリックします。[参照 (Browse)] をクリックし、ローカルシステムから ESC OVA ファイルを選択します。

**ステップ 5** [アップロード (Upload)] をクリックして、ESC OVA ファイルをカタログに転送します。

ESC OVA ファイルをアップロードすると、カタログから ESC vApp テンプレートにアクセスできます。

## vCD Web クライアントへの ESC vApp の展開

ここでは、Elastic Services Controller (ESC) の展開シナリオと、VMware vCloud Director (vCD) に ESC vApp を展開する手順について説明します。

組織や組織 VDC などのリソースは、展開前に vCD で作成する必要があります。詳細については、「vCloud Director (vCD) のリソースの管理」を参照してください。

vCD Web クライアントに ESC vApp を展開するには、次の手順を実行する必要があります。

### 手順

- ステップ 1 vCD Web クライアントを使用して vCD 組織にログインします。
- ステップ 2 [カタログ (Catalogs)] > [マイ組織のカタログ (My Organization's Catalogs)] から、カタログを選択します。
- ステップ 3 ESC vApp テンプレートを選択し、右クリックして [マイクラウドに追加 (Add to My Cloud)] を選択します。
- ステップ 4 展開を完了するには、[マイクラウドに追加 (Add to My Cloud)] ウィザードで次の項目を指定する必要があります。
  - a) [名前と場所の選択 (Select Name and Location)] : vApp の名前として [ESC] を指定し、その仮想データセンターを選択します。
  - b) [リソースの設定 (Configure Resources)] : VM 名として [ESC] を指定し、ストレージポリシーに [SharedOnly] を指定します。
  - c) [ネットワークマッピング (Network Mapping)] : インターフェイスのネットワークタイプに、[MgtNetwork]、[SvcNetwork]、および [VnfNetwork] を指定します。IP 割り当ては、IPv4 のすべてのタイプのネットワークで静的手動です。
  - d) [カスタムプロパティ (Custom Properties)] : Day (0) 操作のカスタムプロパティを入力します。注 : [vCenter Server の VM 設定 (VM Settings of vCenter Server)] セクションは、何か入力したり、変更したりしないでください。
  - e) [ハードウェアのカスタマイズ (Customize Hardware)] : CPU 使用率、メモリ消費量、およびその他のコアパラメータを指定します。
  - f) [終了準備の完了 (Ready to Complete)] : ウィザードの右下隅にある [このウィザードの終了後に vApp の電源をオンにする (Power on vApp after this wizard is finished)] をオンにし、[完了 (Finish)] をクリックします。

## VIM コネクタの追加

インストール後の VIM コネクタの設定、および VIM コネクタの管理の詳細については、『Cisco Elastic Services Controller User Guide』の「Managing VIM Connectors」の章を参照してください。

## 自己署名証明書の追加

vCD インスタンスが自己署名証明書を使用している場合は、次のコマンドを使用して証明書を ESC に追加し、SSL 検証を正しく行えるようにします。

```
$ escadm truststore add --help
usage: escadm truststore add [-h] [-v] --alias ALIAS --file FILE
```

```
optional arguments:
  -h, --help            show this help message and exit
  -v, --v, --verbose    show verbose output
  --alias ALIAS
  --file FILE
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。